はじめに

平成23年3月11日（金）午後2時46分に発生した東日本大震災は、直接的な地震災害と、1000年に一度といわれる巨大津波が、石巻地域に甚大な被害をもたらすとともに、この石巻管内でリハビリテーションに従事する多くのOT、PT、STも被災するなど、津波被害とライフラインの断絶により壮絶な体験をされました。

また、職務中に起こった震災という当時の状況下で、施設利用者や避難者の救護に真っ先に当たることは勿論のこと、一日でも早い職場の復旧と、安心できる避難環境の整備に、寝食を忘れて業務に邁進する激務がそれぞれにありました。

去る、平成23年10月23日（日）に、石巻管内の医療機関や施設等に勤務するリハビリテーション専門職が一同（『石巻地域リハビリテーション震災復興連絡会』）に集まり、震災直後からの約半年間を振り返って、状況を報告し合う機会を設けました。そこで報告された震災直後からの取り組みは、想像を超えた内容でした。

この場で報告された内容は、歴史的にも類を見ない大惨事を間近で体現した被災した立場だからの証言であり、一人ひとりが語り部として、後世に伝えていくことができるものだと思います。

そこで、リハ職一人ひとりが体験し、その時々に感じ取った想いなどを書きとめるものとして、今回、記録集を作成しました。本紙は公式な記録集とは別に、業務上の取り組みについての是非を問うのではなく、あくまでも、リハ職一人ひとりが見聞きし、そして感じたことを書きとめていただくことに主眼をおいています。

寄稿して頂いた皆様には大変感謝申し上げます。執筆にあたり、当時の体験とエピソードを思い起こすことで、精神的なダメージを受けることもあったかもしれません。

本紙に記したそれぞれの想いは、OT、PT、STで共有することで、今後の石巻管内のリハビリテーションの歩みの礎になるものと信じております。

宮城県東部保健福祉事務所長
氏家 栄市

東日本大震災－ 記録集 －

石巻地域のリハビリ職　それぞれの震災、そして新たな希望

こころの復興にむかって ～被災地女川町での経験～ …… P6～7
女川町地域医療センター　理学療法士　佐藤 友視

私の体験した東日本大震災 ～悲劇を繰り返さないために私にできること～ …… P8～10
医療法人社団仁明会　訪問看護ステーション青葉　理学療法士　熱海 聡之

灯り …… P11
リハビリパーク 花もよう　作業療法士　田村 公一

コラム 「福祉避難所」を「リハビリ避難所」に …… P11

2011.3.11　東日本大震災の体験を通して …… P12～13
石巻赤十字病院　理学療法士　谷 崇史

コラム こころの健康を保つために …… P13

震災を通して感じたこと・想い …… P14～15
介護老人保健施設　第二恵仁ホーム　作業療法士　佐藤 志保

震災時の状況 …… P16
真壁病院 リハビリテーション室　理学療法士　小野 剛広

齋藤病院グループの病院・施設の復旧 …… P17～19
医療法人社団仁明会　齋藤病院　理学療法士　遠藤 伸也

当院における震災時の状況とこれからの復興に向けて …… P20
わたなべ整形外科　理学療法士　竹本 晋也

震災を乗り越えて …… P21
介護老人保健施設　長山　作業療法士　佐々木 寿

石巻市立病院のあの時、その後 …… P22～23
石巻市立病院　理学療法士　千葉 智子

支援者側の視点から学んだこと …… P24
ボランティア　PCAT（日本プライマリケア連合学会東日本大震災支援プロジェクト）　理学療法士　横瀬 恵理子

コラム ボランティアの善意と熱意 …… P25

惨禍の記憶 …… P26～27
みやぎ心のケアセンター　石巻市支援　作業療法士　久保田 美代子

震災当日から現在まで …… P28～29
医療法人社団健育会　ひまわり訪問看護ステーション　理学療法士　小柳 拓也

避難所との係わりを通して …… P30～31
宮城県東部保健福祉事務所　理学療法士　粟津 正貴

震災を経験して感じたこと …… P32～33
宮城県東部保健福祉事務所　理学療法士　武田 輝也

コラム リハビリテーション提供機関への支援 …… P34

〈特別寄稿〉

変わることの大切さ …… P35
神戸学院大学　総合リハビリテーション学部　理学療法士　備酒 伸彦

被災地（者）のニーズに応じた自己完結型の支援を …… P36～38
ふつうのくらし研究所　理学療法士　吉川 和徳